



関中央ロータリークラブ

2017-2018 WEEKLY REPORT

例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017~2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017~2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1937回例会 2018年4月26日（木） 担当：会計監査

卓話 鶴匠 足立 陽一郎様 テーマ「鶴飼シーズンを控えて」

前例会の記録

第1936回 2018年4月19日（木）

C. A 地区研修・協議会報告

／担当 次期会長・次期幹事

*ロータリーソング「我等の生業」 斉唱

*会長あいさつ 波多野好文会長

皆さんこんばんは、最近では季節の変わり目か、25度を超える夏日が続いたかと思えば、朝は霜の降りる様な冷え込みの日もあって、天候が不安定です。こんな時は体調を崩しやすいのでご注意願います。まず、今週は酒づくり同好会の待望の新酒が出来上がったので、12日にまごろくで試飲会をしてきました。大変フルーティーな味で、感動しました。詳細は岐阜新聞の15日の日曜日のサンデーワイド版に出ていますので、ご一読下さい。まさにわれわれの汗の結晶という大変おいしい味であったことをご報告いたします。又、酒づくり同好会では今年度も新しい会員も募集していますので、よろしく願います。

話しは変わりますが、先日の土曜日岐阜の都ホテ



ルと長良川国際会議場で、第2630地区の地区協議会が開かれましたので、11名で行って来ました。参加の方はご苦労様でした。また今日発表の皆さんよろしく願います。今日は次年度会長・幹事共欠席で危機的な状況ですが、発表よろしく願いますとのメッセージを頂いています。

私は次年度増強委員長ということで、増強に関する分科会へ出てきました。自由席ということで、美濃ロータリークラブのベテランの別府さんの隣に座りました。次期委員の岡田さんの司会で分科会が始まり、次期増強委員長の久居ロータリークラブの山本和央さんの挨拶のあと、皆さんの意見が聞きたいとすべての人に1分間ほど意見を述べていただくとマイクが回りました。皆さん弁のたつ人ばかりで、到底1分では終わりませんで、3分の1程回ったところで、タイムアウトとなってしまいました。その中で印象に残ったのは、三重県のロータリークラブで、会員より推薦者をピックアップしてもらおうという、われわれと同じやり方をしているところがありました。そのやり方で結構効果をあげているようです。その後どうしたかは、会長と増強委員長の努力

次第とのことですのでがんばりたいと思います。

今日の資料ですが、2枚は分科会で配られたものです。地区のロータリークラブは1997-98年を境に減少に転じて、ここ3,4年は微増していますが、ピーク時の3分の2程までしか、回復していません。日本のロータリークラブも1995-96年を境に減少して地区と同じ状況となっています。日本のロータリアンは世界の10%を占めていたのですが、今は、7%と発言権も低くなっているそうです。

関中央ロータリークラブの会員数変動は私がつくったので間違いがあるかもしれませんが、1999-2000年を境に危機的に減少が続いています、ピーク時には80名が、現在32名ということで、減少率でいうと地区内でワースト10に入るかもしれません。先日のアンケートでも、クラブが成り立つには50名が必要という結果が出ています。なんとか1,2名でも増強したいと思いますので皆様のご協力をお願いします。

*C. A 地区研修・協議会報告 情報部門・職業奉仕部門報告

伊佐地 司次期職業奉仕委員長

先日開催されました地区研修・協議会について報告します。4月14



日(土)13:00より岐阜加納ロータリークラブのホストの下、岐阜都ホテルで開催されました。出席者は会長、会長エレクトはじめ11名です。開会セッションでは加納ロータリークラブの横山会長から歓迎の言葉を頂き、木村ガバナーエレクトから挨拶と特別出席者紹介が行なわれ、その後田山ガバナーから挨拶と地区現況報告が行なわれました。続いて第1セッションとして木村ガバナーエレクトから「次期R Iテーマと地区活動方針」について説明がありました。まず次期国際ロータリー会長 バリー・ラシン様の2018-2019年度テーマ“インスピレーションになろう”について説明され、インスピレーションとは「心に火をつける人、鼓舞する人」と言うような訳し方をされました。次期会長の言葉としては、「ロータリアンは前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、

そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要がある」ということでした。その後、ガバナーテーマとして「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」を発表され、説明されました。職業奉仕という幹のなかにある「奉仕の理念」をしっかり掲げ、感動体験や公共イメージの向上による意欲の喚起を促し、一部のメンバーだけの活動ではなく、ロータリーの仲間みんなで奉仕活動を実践しましょうと言われました。同時に地区重点目標として次の5つを上げられました。

1. 「奉仕の理念」の浸透と例会の充実
2. 会員基盤の強化、意欲の喚起
3. 奉仕活動の充実
4. 公共イメージと認知度の向上
5. ロータリー賞、R I会長特別賞に挑戦しよう

また、新会員、女性会員を増やし、退会防止にも力を入れクラブを元気にすることや、例会出席の重要性について説明されました

その後、第2セッションとして情報、職業奉仕部門の分科会に佐藤副会長と参加しました。会場は丸テーブルに7~8名がグループとして別れ、ディスカッション形式で行なわれました。

初めに情報部門委員会の丸山委員長からの話があり、各委員会活動は単年度ではできないことも計画を立てて実行すれば、無謀が希望になることを説明され、またロータリーに関する教育ツールとしてインターネット動画の活用を推奨されました。その後、職業奉仕委員会の山本委員長の話があり、続いて服部パストガバナーによる「日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則」に関する説明がありました。近年のR Iと日本のロータリーに対する考え方は大きく乖離しているが、わが国のロータリーが継承する伝統を守ることに問題はなく、伝統を守るのはクラブであり、その方法はクラブ細則にあると説明されました。

R Iの意図する潮流として4つあり

1. 百数十年にわたって受け継がれた「ロータリー哲学=理念」は歴史的存在に
2. 既存の「例会廃止」
3. 人道的奉仕を行うボランティア団体を目指す

4. 規模（＝会員数・寄付金額）世界一の「NPO たらんとする

これに対して、わが国のロータリーが継承する伝統の「心＝哲理」の原点は奉仕の理想であり、それは特に職業奉仕活動において実現され、その指針としては四つのテストがある。それを支える哲学が現す「姿」は、「例会」であり、すべての奉仕活動の源は「例会」と説明され、R Iの示す潮流を押し進めれば、わが国のロータリアンの多くが退会するでしょうと言われました。そのほかCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）と日本のロータリーにおけるCLPは如何にあるべきか？ということで、三要点：1.継続性の導入、2.五大奉仕の概念革新、3.何事も全会員参加でを説明され、CLPの考え方はクラブのステータスを高めるための手段として細則に取り入れていただきたいとのことでした。またロータリークラブ細則作成と見直しの重要性について話をされ、細則を作ることは即ちロータリーを考えることであり、情報共有することでもあり、ロータリーを深く知ることにもなると説明されました。

最後に信頼と Make up について話をされ、他クラブの例会出席は自己申告でよく、ロータリアンの言葉は証明書より確かであり絶対的な「信頼」があるということで締めくくられました。

その後グループディスカッションを行い、情報伝達の現状と方法について、今回のような分科会の内容や地区の研修セミナーを受講したときに、その報告などを何時何処でどのようにしているか各自発表しました。私のテーブルは濃飛グループと東海北陸道グループの方たちでしたが、皆さんが直近の例会で出席者が発表していますと発言されました。その他の話として、あるクラブでは最近の若い会員の企業は少人数の事業所が多く、本人が忙しいため遅刻と早退が多いので、今日の研修内容を伝えて例会の大切さを理解してもらうようにすると言われました。

続いてグループディスカッションの報告と各クラブの現状報告があり、数名の方が代表で発表されました。あるクラブでは、時事ネタ、トピックスを職業上精通した人が会員に解り易く説明する事を実施したり、また他のところは卓話を充実させて、卓話

者には必ずロータリーに関わる内容を少しでも入れるようにしてもらったところ、不思議と出席率が増えたとの事を話されました。

分科会終了後に閉会セッションが行なわれ、木村ガバナーエレクトから次年度の重要課題について話があり、ポリオ撲滅のための寄付やPR活動、環境問題による子供への被害対策、世界大会への参加などを呼びかけられました。続いて次期開催地ホストクラブ会長挨拶として津ロータリークラブの黒川会長エレクトが話をされ、閉会となりました。

私は2月の職業奉仕セミナーに続き、今回の地区研修にも参加しましたが、職業奉仕がロータリーという樹の根であるということはわかりましたが、あとは解らないことばかりでしたので、今更ながら私が委員長で大丈夫なのかと大いに不安になりました。どうか皆さんのご指導をお願いしまして発表を終わります。参加された皆様方、お疲れ様でした。

奉仕プロジェクト部門報告

小川糧司次期社会奉仕

・環境保全委員長

全体会議につきましては既に報告がありましたが、奉仕プロジェクト部門の社会奉仕小委員会と国際奉仕小委員会の合同分科会の報告をします。私が地区の環境保全委員会を卒業してから5年たちますが、環境保全委員会が社会奉仕小委員会に名前が変わり、活動の内容が少し広くなりました。今の活動内容は、1.各クラブの奉仕プロジェクトの情報を収集して、各クラブにフィードバックしてそれを参考にしてもらうこと。2.要請のあるクラブに赴き、卓話をするということですが、卓話の依頼はあまりないそうです。3.地区内に点在する名水と言われる所の水質調査をして、災害時に使える水であることを地域に知らしめるということです。また、今回は各クラブの過去10年間の植樹本数を調査して統計をとり、それを発表されました。過去10年間で約8000本植樹し、そのうちの57%が残っており、会員あたり2.6本植えた計算になるそうです。

国際奉仕小委員会はグローバル補助金の使い方について説明されました。各クラブ1人あたり200円をWCSに払っているわけですが、その使い道を説明



されました。

また、両委員会とも地区補助金の活用の資料が配られました。昨年度は27クラブが補助金を利用して、例をあげますと、鈴鹿RCがロータリー文庫、下呂RCが地域健康大作戦と銘打って高血圧予防の重要性を考える会を開かれました。各務原中央RCが地域社会への発展として、ミャンマーへの救急車の贈呈プロジェクトをされたそうです。単年度事業なので難しいところもありますが、当クラブも来年度は活用しようと準備中です。

青少年奉仕部門報告

小澤重忠次期国際青少年交換委員長

4月14日(土)長良川国際会議場 岐阜都ホテルで地区研修・協議会が開催された。当日の参加者は高山から熊野まで75のクラブより約1000名、全クラブ3200名の3分の1の会員が参加した。



プログラムの開会セッションに始まり、第1セッションはガバナーエレクトの「次期RIテーマと地区活動方針の発表」、第2セッションは分科会での研修・協議会そして閉会セッションと進行された。第2セッション分科会は、9分科会に別れ、青少年奉仕部門のローターアクト、青少年育成、青少年交換、インターアクトの分科会に神谷青少年育成委員長、青少年交換の小澤の2名が参加した。この分科会の参加者は76名。カウンセラーは石垣智康パストガバナー、リーダーは次期青少年奉仕部門の各委員長が担当。各リーダーより委員長の事業指針報告。

「青少年育成小委員会」出前講座について、出前講座の目的、職業人と生徒の交流を通して、次代を担う子供たちに働くことの意義、「夢や誇り」を持つことの大切さを伝え、将来について考えるきっかけを作る場とする。ガバナーテーマの実現。公共イメージと認知度の向上。これまで築いてきた地域の学校・教育委員会からの信頼関係を生かし、出前講座の実施と継続。ロータリーの組織力とネットワークで持続可能な影響をもたらす大きなプロジェクトに変わる。

「青少年交換委員会」から活動報告と計画の発表があり、青少年交換事業は多感な思春期の高校生を派

遣し、同時に受け入れるという重大な責務を背負い、また国際ロータリーの真の目的である国際社会に通じる新世代を育てるという事業を実施している。ちなみに交換派遣・受入は最近減少傾向にある。最近の交換実績国は、ノルウェー、カナダ、アメリカ、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、イタリア、スイスとなっている。

活動計画は8項目を活動計画としてあげている。

1. 青少年交換委員会の実施
2. 派遣候補生と受入学生との合同オリエンテーションを実施
3. 派遣候補生と家族向けの渡航手続きの説明会の実施
4. スポンサークラブのカウンセラー、青少年奉仕委員長、ホストファミリーと委員会メンバーによる意見交換会の実施
5. 受入学生と帰国学生による研修旅行（広島か長崎）の実施
6. 派遣候補生と受入学生の合同の「日本の伝統文化と美を知る作陶体験」の実施
7. 多地区（長野、山梨、静岡、岐阜、三重、愛知、特別参加地区）合同の「青少年交換白馬スキーマスの集い」の参加
8. 派遣候補生と受入学生合同の「日本の伝統文化と心を知る 座禅体験」の実施

「インターアクト委員会」活動内容の紹介

インターアクトの主な目標は青少年が世界中の若者と、より広く理解と親善を作り出す機会を提供することである。

・インターアクトの年間活動予定

5月13日 教師部会では活動報告を行い情報の交換を行う。日頃の活動の問題点やこれからの活動方針、クラブと学校の連携などについてディスカッションをする。

5月27日 韓国派遣面接

6月10日～7月15日 オリエンテーション3回

7月25日から29日 韓国派遣

8月1日～5日 韓国派遣団受け入れ

9月2日 帰国報告会

8月4、5日 インターアクト年次大会

期日未定 中・東濃地区協議会 主催 美濃加茂高校

***出席委員会**

会員数 31 名、本日の出席 20 名です。

***ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

本日のプログラム、地区研修・協議会の報告宜しくお願いします。

・石原妙生君

先日、クラブからお菓子が届きました。やさしい甘さに思わず妻もニコリ！続けてほしいです。

ありがとうございました。

20 名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

例会終了後、理事・役員会を行います。

<次例会の案内>

第 1938 回 2018 年 5 月 10 日（木）

卓 話 岐阜県議会議員 酒向 薫様

テーマ 「県政報告」 担当：青少年育成委員会